

認知症疾患医療センターとは…？

認知症に特化した機関です

小樽市立病院は
後志圏域の
認知症疾患医療センターです

● 認知症疾患医療センターとは？

- ✿ 認知症疾患の保健医療水準の向上を目的として全道各地に設置されている。
- ✿ 認知症は早期発見、早期治療を行うことが大切であるため、かかりつけ医と連携しながら専門的な医療を提供している。
- ✿ 行政や介護サービス事業者、地域包括支援センター等と連携しながら様々な活動を行っている。
- ✿ 認知症の普及、啓発活動を行っている。

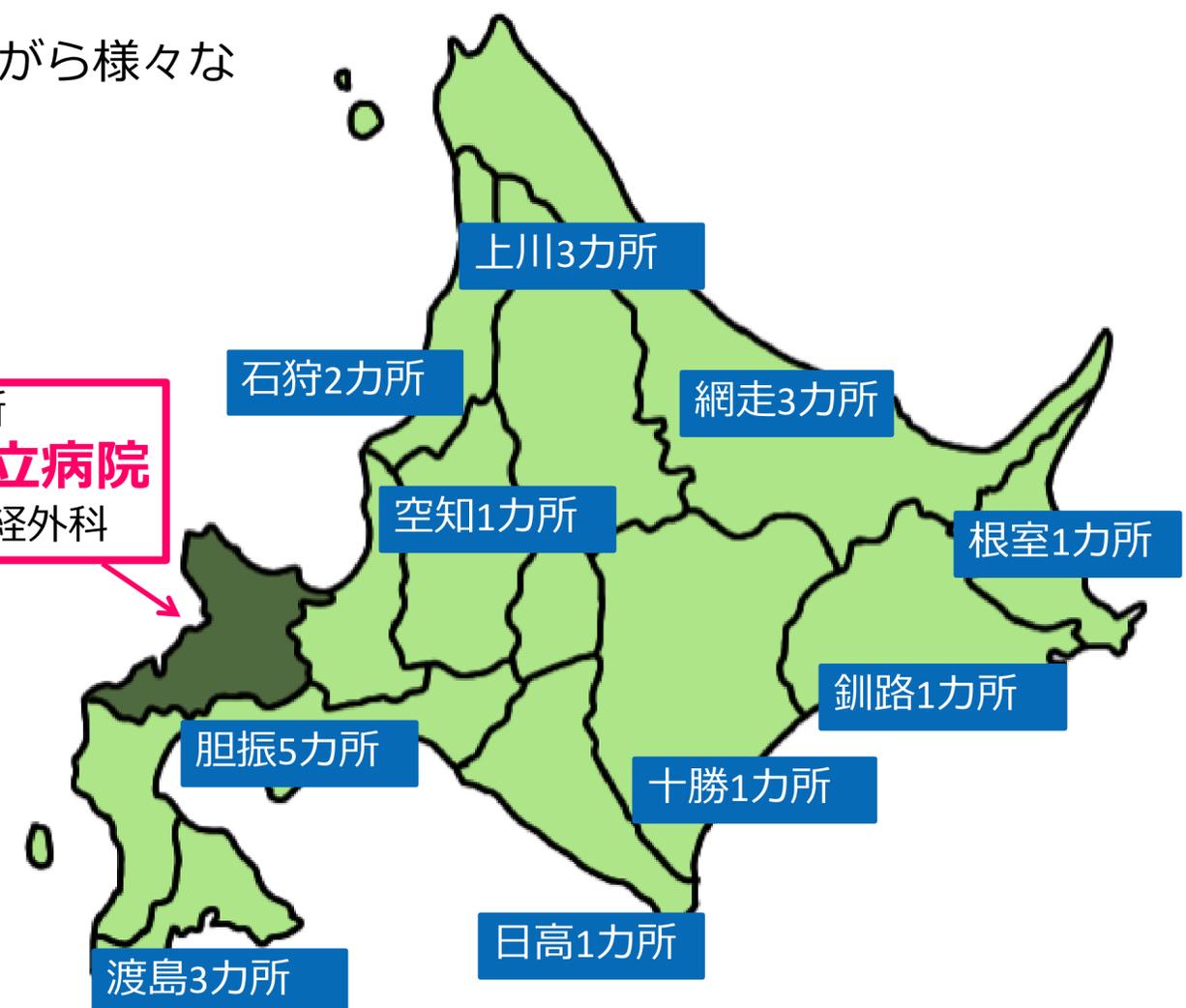
● 認知症疾患医療センターは全道に23カ所あります

- ✿ 年に2回、全道の認知症疾患医療センターで集まり、意見交換、情報交換を行っています。
※昨年度はオンライン開催となりました。

＼今回は当センターの活動をご紹介します！／



後志2カ所
小樽市立病院
島田脳神経外科



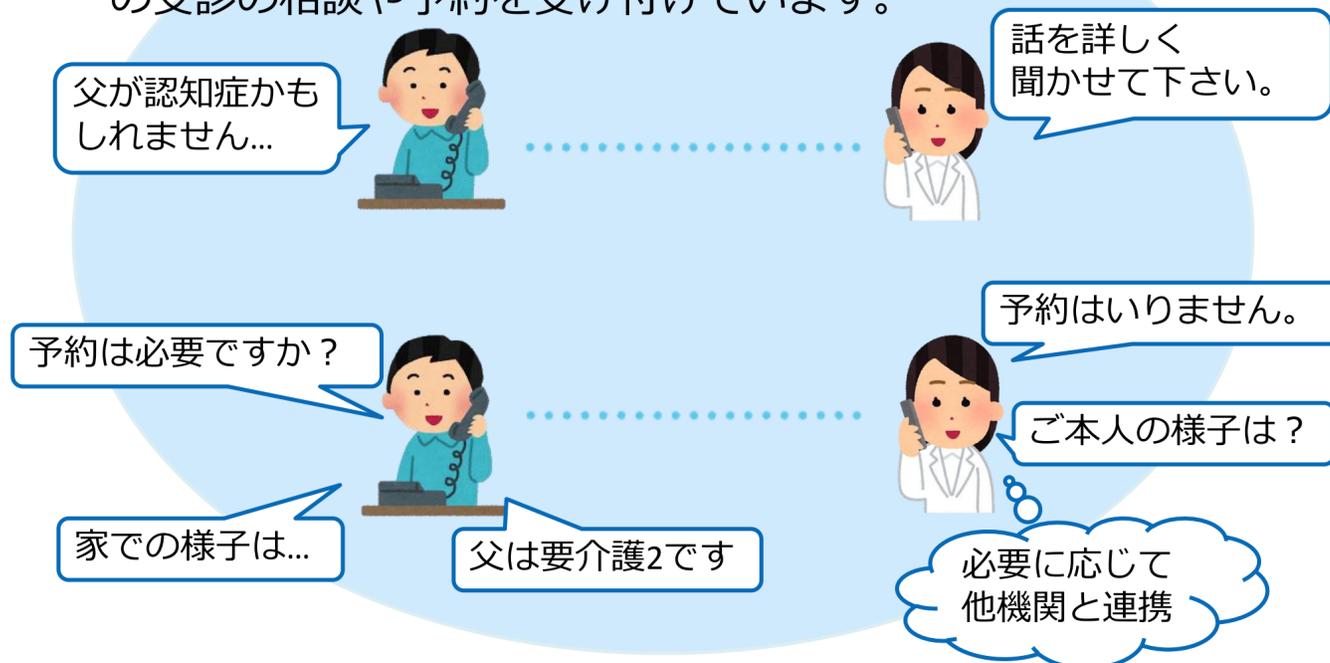
当認知症疾患医療センターの活動内容

4つの主な活動を紹介



● 受診相談

患者さんご本人やご家族の方、担当のケアマネジャーさんからの受診の相談や予約を受け付けています。



● 後志認知症疾患医療連携協議会の開催

介護と医療の連携を強化するため、後志認知症疾患医療連携協議会という後志管内の関係機関との会議の場を定期的に設けています。前年度からはオンラインと会場のハイブリッド形式で開催しています。



↑連携協議会in小樽市立病院みなさん真剣な様子です。
※写真はコロナ禍以前に撮影されたものです。

● 画像検査、認知機能検査の施行

認知症かどうか、どのような認知症なのかを判別するために各種検査を行っています。かかりつけ医の依頼を受けて当院で画像検査を行うこともあります。

● 画像検査

- ・MRI SPECT (スペクト) ・MIBG/心筋シンチ
- ・ドパミントランスポーターシンチグラフィ
- ➡ 脳や心臓の筋肉の写真をとって検査をします。



● 認知機能検査

- ・MMSE ・HDS-R (ほか)
- ➡ 主に質問を通して記憶力などの検査をします。



● 広報活動

皆さんに認知症について知ってもらうため、例年講演会の企画などの取り組みを行っています。今年度は医療・福祉関係者向けの講演会を行いました。

認知症ステップアップ講座の講師として認知症への理解を深めて貰う為の活動も行っています。



←今年度当院で行った講演会の様子です。
オンラインでも多くの方にご参加いただきました。

認知症って
どんな病気？

認知症のあれこれ

認知症を知る



●高齢者と認知症

厚生労働省の2014年の統計によると、高齢者人口（65歳以上）の認知症患者数は262万人、65歳以上の約8～10%が認知症と推定されています。4人に1人が高齢者という時代を迎えた今、家族内に認知症患者を抱えるということとはごく身近なこととなっています。

●加齢による物忘れと認知症の違い

物忘れ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出来事の一部を忘れる ・ 忘れた事を自覚している ・ ヒントを言われると気づく
認知症	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出来事の全てを忘れる ・ 忘れた事を自覚していない ・ ヒントを言われても気づかない

●認知症の原因

脳梗塞や脳出血の後遺症など原因が明らかになる認知症もありますが、多くの認知症においてその原因は不明です。認知症の原因は何なのか、その解明が進められています。

●認知症の症状

認知症には中核症状と周辺症状（BPSD）があります。中核症状は脳の変化が原因となって起こります。新しい情報を記憶できない、体験したことを忘れるといった症状が上げられます。周辺症状は生活体験やそのときの心理的状況から引き起こされます。徘徊や妄想は周辺症状の一つになります。

認知症の種類と違い

～認知症の型は大別すると4つ～

＊アルツハイマー型認知症

認知症の患者さんの半数以上はアルツハイマー型認知症です。時間や場所がわからなくなり、記憶障害が見られるようになります。

＊脳血管性認知症

アルツハイマー型認知症の次に多い認知症です。脳卒中などの後遺症として発症します。記憶障害の他に手足のしびれや麻痺などが症状として見られることがあります。

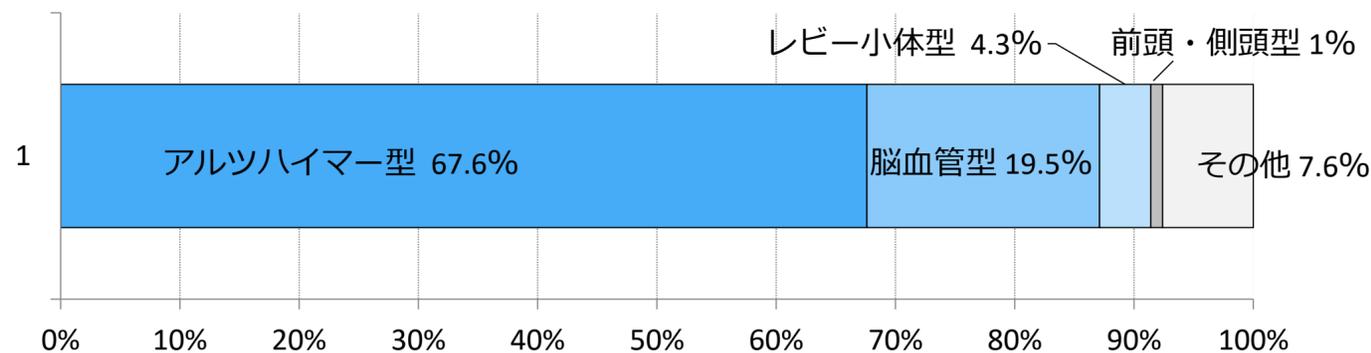
＊レビー小体型認知症

幻視や抑うつ、パーキンソン症状を伴って、1日の中でも調子の良い時と悪い時を繰り返しながら進行します。

＊前頭・側頭型認知症

初老期に多く発症します。性格が変わる、同じ行動を繰り返すといったことが見られます。時に万引きなどの反社会的な行動をしてしまう事もあります。

「型別による認知症の割合」



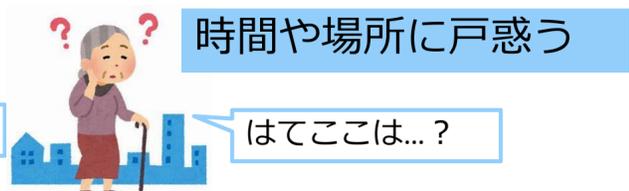
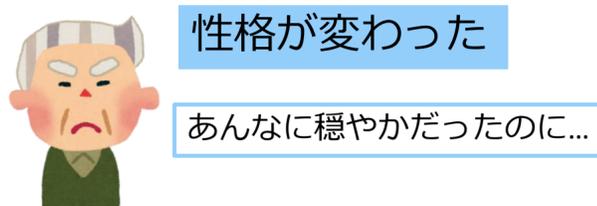
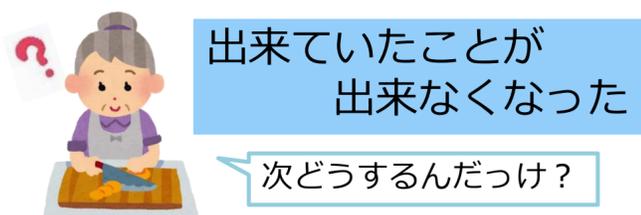
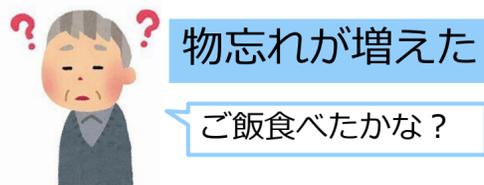
出典:2013年5月「都市部における認知症有病率と認知症の生活機能障害への対応」(筑波大学附属病院精神神経科)

認知症かなと思ったら...

早期受診が早期治療の鍵



● 思いあたることはありませんか？



こんな経験をする
と不安になりませんか？

**あれ？もしかして？と思ったら、
検査を受けると安心です。**



早期受診のメリット

- ＊「認知症なのか」、「別の病気なのか」、「治療の可能性があるのか」がわかる
 - ＊進行を遅らせる可能性がある
 - ＊速やかに介護保険などのサービスにつながる事ができる
- ➡ 医療相談員が制度に関する相談にのります！

● 当院の受診について

当院の受診は受付順となっております。新患の方は下記の表を参考に、新患受付時間（8：30～11：00）に来院してください
※ご予約は受け付けておりませんのでご注意ください。

外来担当表（新患）

	月	火	水	木	金
新患 (8:30～ 11:00)	新患受付 なし	山本 高丸	末岡 今本	笹川 末岡	高丸 笹川 今本

● 診察時の持ち物

- ・お薬手帳
- ・保険証
- ・かかりつけ医のお手紙（通院中の方のみ）

● その他

当日は**ご本人の普段の様子**がわかる方に付き添いをお願いしています。ご家族が難しければ、介護・福祉関係者の方に来院いただいております。詳細は受診予約の際にご相談となります。

● 受診の流れ



ご不明な点、ご相談等がありましたらお気軽にご連絡ください
小樽市立病院 認知症疾患医療センター（代表TEL:0134-25-1211）